

食糧配付 & 生活再建

2008年9月以降、国際赤十字とジンバブエ赤十字社はHIV・エイズ対策事業のクライアント(HIV陽性者・エイズ患者)、エイズで親を失った子どもたちとその家族を対象に、全国96か所で食糧支援を行っています。配付場所1か所につき2,000人分、1人2,200カロリーが摂取できる量(メイズの粉、ベジタブルオイル、豆)を支援しています。また、種子の配付や井戸の支援を通じ、人々の生活の再建を目指しています。



食糧配付



食糧支援を受ける人々と
国際赤十字で活動する日赤職員



食糧配付場所に集まる子どもたち



生活再建のために提供する
家畜に予防接種をする



生活再建支援で設置した
用水路に集まる子どもたち



種子の支援が実りつつある様子



食糧配付場所で配付が適切に行わ
れているかチェックするスタッフら